

報告内容

1. 簡単なプロフィール（氏名、受験校種、1次2次試験の点数・順位、年齢、受験歴等）

氏名 校種 特支小学部 昨年が初受験

一次 教養:62 専門:136 加点(特支免許有のため):15 合計 213 点(5 位)

二次 模擬授業:36 合計 128 点(11 位)

2. 塾に通おうと思った理由

まなび道は少人数であること。また、授業後に問題を解く時間があり、自分の中にしっかりと落とし込める授業内容だったので継続して通うことができました。

3. 1次試験について

● どの時期に、どの科目を、どれくらいやったか

教養は 10～12 月はまなび道のプリントを読み込む 1～7 月は問題をこなす

専門は 10～3 月は苦手なものをできるだけなくす、4 月～問題をこなす

→特に学習指導要領は覚えちゃえばたくさん点取れるので、暇があれば読んだり、問題解いたりしてました

● 学習サイクル（具体的に 1 日の勉強時間等）

自分の中で 1 日 2 時間は勉強することを決めてました。無理しすぎて勉強が嫌になっちゃうより、自分の調子と相談しながら勉強することが大切だと思います！

● 使用した参考書・教材

基本まなび道のプリント、問題+YouTube の聞き流しで勉強しました。

● 一般教養、教職教養、専門教科それぞれで、時間をかけて勉強したところ。

一般、教職では、自分の苦手なところを重点的に。

専門は苦手なところ+学習指導要領を重点的にしてました。

● 暗記のコツ等、講義以外のオリジナル勉強方法

自分専用の単語帳を作って、解けなかったところ、苦手なところを隙間時間(車の中とか)に見て、苦手をなくす意識をしてました

- 反省（失敗したこと、もう少し効率よく出来たと思われるところ、間違いなく失敗）
6月ごろから学習指導要領をしっかりと勉強したんですけど、もっと早くやっとならば、もっと点が取れたなと思います。
そして、過去問に取り組むのが遅かったので、早めに始めるべきでした…
- これはぜひオススメ
まなび道からのプリントや問題はたくさんこなすべきです！似たような問題が出たり、問題をたくさん解いていくことで、自分で答えの予想ができてきます！
そして、まなび道の月1のテストは、全然勉強しなくても受けることで、モチベーションが上がるので、毎月受けていました

4. 2次試験について

- 2次試験の内容
受験調書について、(特別支援学校の)児童の対応について、他の先生との関わり方について
- 各試験（小論文、面接、模擬授業）対策をどの時期から始めたか。
面接、模擬授業、筆記試験(去年は中止)共に、一次試験が終わってすぐ取り組みました。
- どのような対策をしたか（まなび道の対策以外で行った対策等）
毎日面接、模擬授業の練習をしていました。私は両親や友達に協力してもらいました。
- 使用した参考書・教材
まなび道からのプリント
- 反省（失敗したこと、もう少し効率よく出来たと思われるところ、間違いなく失敗）
去年は筆記試験が中止だったんですが、一次試験が終わってから対策するのは、確実に遅かったと感じています。筆記試験は早めに取り組んでいた方がいいです。
模擬授業は早めにたくさんの人に見てもらおう。試験が近くなったら、大体型を決めておくことが大切だと思いました。試験近くなってから、新しい意見を貰うと混乱しました…
- これはぜひオススメ
毎日面接や模擬授業の練習をすることは力になるし、慣れることができました！

5. 試験に向かう姿勢

- 心構え、生活サイクル等

受かって受からなくても自分の全力で試験は受けること
休日でも10時には起きて勉強することを心がけてました！

- モチベーション維持の為にしたこと

無理しないように心がけてました。今日は疲れたからここまで。
昨日頑張ったからおっけい！ぐらいの気持ちでやりました

- ストレス解消法

たまには遊びに行ったり、美味しいもの食べたり、リラックスできる時間を作っていました

長くなってしまったんですが、もし参考になれば嬉しいです！